

米国アカデミー賞公認 アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2018

地方活性化に一役！注目の日本の観光プロモーション映像 今年のベストオブベストは？

ゾンビからシンフロミュージカル、ヒューマンドラマまで趣向を凝らした
観光映像大賞の国内ファイナリスト10作品を発表！

海外からは「インドのブラピ」出演作など注目の作品がラインナップ！

今年20周年を迎える米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭ショートショート フィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA)は、全国各地の観光プロモーション映像を募集し、映画的魅力にあふれた作品を表彰する第7回観光映像大賞の国内10作品のファイナリストを4月19日に発表します。作品は、映画祭と連動し観光映像を年間を通じて紹介・発信する「旅もじゃサイト」(<http://www.tabimoja.com/kankou7/>)にて、海外の注目観光映像とともに公開いたします。

年々人気を博す国内の観光プロモーション映像は、2017年8月1日～2018年3月末までの公募により史上最多の519作品が集まり、映画祭実行委員会と観光映像大賞を後援する観光庁がファイナリストとして10作品を選定。

本年はドラマや映画で俳優として活躍する前野朋哉さんが監督を務め、一見ネガティブな表現になりそうな「ゾンビ映画」の手法で、見事に岡山の地をプロモーションする『The Land of Sunshine』、温泉でシンクロナイズドスイミングを行う映像で話題を呼んだ大分県の「シンフロ」がミュージカルになって帰ってきた『プレミアムフロイデー』、美しい南島原のロケーションを舞台に描かれる切ないラブストーリーに思わず見入ってしまう『夢』など、多彩な作品がそろいました。

海外からも注目映像をラインナップ。「インドのブラピ」として大人気のボリウッドスターShah Rukh Khanが第二の故郷ドバイでドッキリをしかけるチャームな作品『Shah Rukh Khan's personal invitation to Dubai - #BeMyGuest - Visit Dubai』や人気旅ブロガー ジャック・エリスがフィリピンを旅して現地の人々の温かさにふれる『ANAK』、観光地として有名な場所でなく、その土地ならではの自然や街並など隠れたスポットこそが魅力的とされる最近の観光客の嗜好傾向を象徴するオスロの作品『The Great Escape』など、旅気分を盛り上げつつ、世界の観光映像の最新動向を感じられる注目の海外作品も旅もじゃサイトで紹介しています。

今後、映画祭実行委員会と観光庁が国内作品ファイナリストの中から大賞を、Visit Japan大使が海外作品の大賞を選定し、6月4日(月)に実施されるSSFF & ASIA 2018オープニングセレモニーにて発表いたします。

国内注目作品



『The Land of Sunshine
(ザ・ランド・オブ・サンシャイン)』
岡山県・監督：前野朋哉



『プレミアムフロイデー』
大分県



『夢』
長崎県南島原市

海外注目作品



『Shah Rukh Khan's personal invitation
to Dubai - #BeMyGuest - Visit Dubai』
ドバイ



『ANAK』
フィリピン



『The Great Escape』
ノルウェー・オスロ

観光映像大賞ファイナリスト（国内）



★第1回旅もじゃ賞

『The Land of Sunshie(ザ・ランド・オブ・サンシャイン)』

（岡山県）2017年 2：33

降りしきる雨の中、ゾンビに追われる二人の男女が逃げ惑います。二人が目指すところは・・・。



★第1回旅もじゃ賞

『For Tourism ISHIKAWA』（石川県）2017年 4：58

北陸新幹線開業により、国内外で爆発的に人気が高まった石川県への海外からの誘客をさらに促進するために製作されたプロモーション映像。

①4つの地域（金沢、能登、加賀、白山）、②歴史・文化、③四季の風景・食、④アクセスの良さという4つの観点から、美しい高精度（4K）映像で、石川県の魅力をあますことなく紹介。



★第2回旅もじゃ賞受賞作

『夢』（長崎県南島原市）2017年 8:13

柿田守（87）の葬儀から物語は始まる。柿田が目覚めると、（境界）で案内人（ユマ）と対峙していた。戸惑う柿田を無視して、ユマはある提言をする。「柿田の人生の中で一日、もどれる。ただし、忠告として現実には変えられない。夢のようなものだ。」柿田は、若い時に愛して、死に別れた結衣（21）とデートした一日を選択する。南島原市を舞台に繰り広げられる、儚くも美しいショートフィルム。*境界・生と死の境界の場所



★第2回旅もじゃ賞

『ギンギラ銀山パラダイス -GGGZPDS-』

（兵庫県・生野銀山）2017年 2：59

兵庫県朝来（あさご）市の史跡・生野銀山にて、おそらく日本一、あるいは世界一深い地下で活動する“超スーパー地下アイドル”「GINZAN BOYZ」が2017年夏、ついに発掘！！

今も坑道でギンギラギンに体を張って頑張っている総勢60名のマネキン人形たちが、あなたの心を打ち砕きます。



★第3回旅もじゃ賞

『プレミアムフロイデー』（大分県）2017年 2：11

働き方改革・休み方改革が多様な視点で語られる今、大分県は日本一のおんせん県として動画で「プレミアムなお風呂でもっと楽しく休もう！」と休み方を提案しています。Premium Furoidayのロゴの「P」は「ゆ」の文字で表現。「フロイデー」にはドイツ語で「喜び・歓喜」という意味もあります。大分県は質の高い温泉が日常生活の中に入り込んでおり、大分県民が温泉に行く頻度は全国のなんと約4.8倍※という調査結果も出ているほど。さあ、あなたも次の休みはプレミアムなおフロにおいで～！ ※大銀経済経営研究所「おおい温泉白書」より



★第3回旅もじゃ賞

『GOD WALK in TAKAHARU ～天孫降臨少女～』

（宮崎県高原町）2016年 2：31

絵画のように湖に浮かぶ空、こぼれ落ちるほどの星空、大自然に育まれた宮崎牛、そして雄大な姿で圧倒的な存在感を誇る高千穂峰。

自然の恵みに溢れる宮崎県高原（たかはる）町を、神秘的な少女の目線と共に紡ぐ動画です。



『小菅村オブザデッド』
(山梨県) 2016年 5:21

山梨県小菅村に移住したプレイヤーがゾンビと戦いながら村を発展させていく内容のゲーム実況動画。出演者はほぼ村人でリアル村長も出演！？ 村×ゾンビ×ゲーム実況の新感覚PRムービー。



『蕾 tsubomi ～光咲くまち～』
(福岡県田川市) 2017年 18:28

カメラマンを志し、東京で修行に明け暮れる主人公・皐月が、初夏の神幸祭に活気づくふると(田川市)に久しぶりに帰郷する。住んでいた頃には気付かなかった故郷の魅力や、レンズを通して見た街並み、自然の美しさ、人々の温かさに触れるうちに「ふるさとの魅力をたくさんの人に伝えたい」と強く思うようになる。



『NEOHENRO | 四国ネオ遍路 フォトジェニックすぎる四国88カ所巡り』
(四国) 2018年 3:56

高松空港民営化にあわせて、四国4県の知られざる観光資源をフォトジェニックすぎる四国88カ所巡り(NEO遍路スポット)として紹介。作品はスマートフォンで視聴するために縦型動画として制作された。高松空港に降り立った国籍不詳の男女が、未来的な衣装を身にまとい「NEOHENRO」の旅に出る。四国各地のフォトジェニックな場所、食、名物を新しい感性で切り取った新感覚観光ムービー。



『忘れられない歌(えびの市 × 飯野高校 × クリエイター)』
(宮崎県えびの市) 2018年 6:16

都会で活躍する主人公の女性が落ち込み悩んでいるときに突然届いたメール。そこには昔懐かしい故郷(えびの市)の写真とメッセージが添えられていた。彼女は久しぶりに、昔、母と過ごしたふるさとの思い出の地を巡っていく。市内唯一の県立高校である飯野高等学校とプロのクリエイターの全面協力により生まれた、感動のミュージックビデオ風PR動画。

■観光映像大賞とは

SSFF & ASIAでは、2012年より、観光振興という観点で創造性、振興性、話題性を含んだ観光プロモーション映像に「観光映像大賞(観光庁長官賞)」を授与してきました。第6回観光映像大賞(2017年)は、全国から462作品の応募があり、宮城県登米市の「Go! Hatto 登米無双」が受賞しました。

<第7回観光映像大賞応募要項>

■応募期間：2017年8月1日(火)～2018年3月31日(土)

■参加費：無料 ■参加対象者：不問 ■作品の長さ：60分以内(エンドクレジット含む) ■制作年：不問

■対象作品

・日本全国47都道府県で制作された観光プロモーション映像・映画・ビデオ

・“観光や地域振興”という観点で創造性、振興性、話題性のある作品

・CM的な要素を含みながら、見た人にインパクトを与え、心を打つ作品

・各地域の自治体、団体(組合等)、企業(旅行会社、広告会社等)、個人が制作・保有している作品

・使用した楽曲等についても、ウェブ配信やイベント上映などが権利上可能な作品

■賞：観光映像大賞(観光庁長官賞)

2017年8月1日(火)～2018年3月31日(土)の期間に応募された映像作品より1作品選出(予定)

※ショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2018 6月4日(月)～6月24日(日) オープニングセレモニー(6月4日)にて賞状を授与。

■旅もじゃ賞とは

観光映像大賞の応募作品をはじめとするとご当地プロモーション映像をメインコンテンツに、ご当地キャラによる地元紹介や映像ロケ地情報など、全国各地の情報を様々な視点から掲載するご当地まとめサイト「旅もじゃ」が、年に複数回、ご当地の魅力や面白味のある映像表現で伝える作品を対象に、観光映像大賞応募作品の中から独自に選定決定し、発表しているアワードです。

<http://www.tabimoja.com/>

■ショートショートフィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA) について

俳優の別所哲也が代表をつとめる米国アカデミー賞公認・アジア最大級の国際短編映画祭。1999年に東京・原宿で誕生し、これまでに延べ38万人を動員。

初年度は映画『スター・ウォーズ』で有名なジョージ・ルーカス監督の学生時代のショートフィルムも6作品上映し、その後も毎年応援を頂いています。

<http://www.shortshorts.org/>